

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用又は他の研究機関への提供を希望されない場合は、下記の「本研究に関する当院の連絡先」にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	理学療法士の参画がポリファーマシーチームでの薬剤調整とリハビリテーション進行に与えた影響について
意義・目的	高齢患者さんにおける多剤併用（ポリファーマシー）は、薬剤間相互作用や副作用のリスクを高め、せん妄、起立性低血圧、食欲不振、倦怠感など、リハビリテーションを阻害する要因となります。特に整形外科的な入院患者では、手術後の疼痛管理や基礎疾患の治療により薬剤数が増加しやすく、ポリファーマシーによる影響を受けやすい傾向があります。今回、当院ポリファーマシーチームに理学療法士（PT）が参画し、回診を通じて薬剤調整の判断材料となる身体機能や離床状況の情報提供を行うことの効果について検証します。 本事業の必要性や療法士のチーム参画の効果を検証すると共に、今後のより良い事業展開に繋げることを目的としています。
研究期間	当院病院長許可日（利用開始日）2026 年 8 月 6 日～ 2026 年 8 月 30 日
対象患者	2025 年 1 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の期間に当院 10 階東西病棟へ整形外科疾患で新規入院した患者さんのうち、75 歳以上かつ内服薬 6 剤以上で、薬剤師が患者さんまたはスタッフから介入希望を受けた患者さん
研究内容	ポリファーマシーチーム介入前後で効果の比較を行います。 「リハ実施状況や日常生活動作評価、症状、リハビリ実施状況等」の情報を収集し、療法士がポリファーマシーチームにすることで、日常生活動作の改善に貢献できたかを検討します。個人が特定できる情報は削除します。
利用する試料・情報の項目	識別コード、性別、年齢、リハ実施率、服薬数、症状、離床状況、FIM^{※1}等 ※1 日常生活動作の自立度を評価する指標
試料・情報の他機関への提供有無	☐あり（ ☐国内 ☐海外 ） 提供方法： ☒なし

研究組織	研究代表機関：機関名および研究責任者名 島根県立中央病院 坪内 史子 共同研究機関：機関名および研究責任者名 該当なし 試料・情報提供を行う機関：機関名および施設長名 該当なし
本研究に関する 当院の連絡先	研究責任者： 島根県立中央病院 リハビリテーション技術科 坪内 史子 電話：0853-22-5111（代表） 事務担当： 島根県立中央病院 臨床研究・治験管理室 電話：0853-30-6590（直通）
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。 URL：https://www.spch.izumo.shimane.jp/privacy
結果の公表	2026 年の中国ブロック理学療法士学会で発表予定です。
備考	